

## 単元計画シート

## ＜基本情報＞

作成者情報	
学校名	尾道市立日比崎中学校 「令和2年度特設講座ICTを活用したプロジェクト型学習の実践に向けて」において作成

単元情報			
学習実践タイプ	教科型	クロス・カリキュラム型	総合的な学習型
単元名	防災教育		
タイトル	HIBIZAKI SURVIVAL PROJECTS ～南海トラフ巨大地震をみんなで何が何でも生き延びろ！！～		
教科	総合的な学習の時間	学習テーマ	防災
学年	1学年（全学年）	総時間	11時間
単元計画の概要			
<p><b>研究仮設</b> 総合的な学習の時間において、ふるさと尾道を軸に、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」のある探究学習の授業を展開し、その中で協働学習（話し合い活動）を充実させることができれば、生徒の資質・能力（表現力・コミュニケーション能力・主体性）をより育成できるであろう。また、これらの学習を通して、広い視点を持った地域愛を育み、ふるさとで活躍できる生徒（地域を愛し、地域に愛される子ども）を育成できるであろう。</p> <p><b>単元設定の理由</b> これまで日比崎中学校では、『尾道を知る、伝える』ということを中心に、行事との関連を意識した総合的な学習の時間が設定されてきた（1年生：尾道学・検定＝文化祭、2年生：他地域訪問＝修学旅行、3年生：イングリッシュボランティアガイド）。また、各行事として、地域貢献活動（清掃活動）や住吉花火清掃ボランティア、生徒会による「おのにゃんギフト」、吉浦町防災訓練への参加、などが行われ、町づくりへの参画（『尾道に参加する』）が進められていた。 一方で、カリキュラムマネジメントを意識した、教科横断的な取組みは行われておらず、これまで行ってきた総合的な学習の時間と各行事との間をつなぐ新単元の作成が求められた。 そこで注目したのが、「防災」というテーマである。多くの在校生が、2018年の西日本豪雨では断水を経験し、現在も新型コロナウイルスをめぐる情勢を見通せない中で、遠くない将来、いつか必ず来るであろう危機に万全の状態である必要があると考えた。校区内には防災意識の極めて高い町内会が存在し、保健体育科の授業では避難所運営ゲーム（HUG）の単元開発もしていたこともあり、日比崎中学校がすでに持つ人的物的資源を活用しながら『尾道を守る』という視点で、社会に開かれた教育課程への挑戦となる総合的な学習の時間の新単元を作成した。</p> <p><b>単元の概要</b> 防災教育の単元を通して、「南海トラフ巨大地震が発生しても、自分たちは助かることができるのだろうか？」という問いに対して、「DIG」や「フィールドワーク」、「HUG」などの諸活動を行いながら、防災に関する知識・技能を身につけ、防災について思考・判断・表現していく中で、主体性を発揮し、一定の根拠を持って「自分たちは大丈夫！自分1人だけでなく、みんなで生き延びることができる！」と言える生徒の育成を目指す。</p> <p><b>来年度に向けた課題</b> より内容を深化・精選していくために、防災教育の専門家との連携、指導が必要である。 次年度以降も持続可能な取組となるように、プロジェクトチームをどのように運営していくか（この教員がいるからではなく、学校外（地域・行政）とも連携し、組織で継続して取り組めるものにシフトしていく）。 県の「ひろしまマイ・タイムライン」の活用や、地域企業との連携を進めていく必要がある。 同じMissionを新鮮味のある形で、どのように継続していくか。</p>			

## 育成したい21世紀型スキル（資質・能力）

令和2年度日比崎中学校が育成を目指す資質・能力

- 主体性（自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。）
- 表現力・コミュニケーション能力（話す：自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。訊く：相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながら聞き、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。やりとり：話を聞いて質問した後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。）

HIBIZAKI SURVIVAL PROJECTSで育成を目指す資質・能力

- 危険予知能力（危険の認知および危険回避に必要な知識を安全確保に活用できる「情報活用力」と、潜在的な危険および接近した危険状態を認知するための「危険察知力」を身につけている。）

## 学習目標

〈総合的な学習の時間〉

- （2）実社会や実生活の中から働くことに関する問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
- （3）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

## 他の単元との関連

- 3年：英語「Unit 4」Our Future Generations～HIBIZAKI SURVIVAL PROJECT 外国人にも救いの手を！  
保健体育「傷害の防止」HIBIZAKI SURVIVAL PROJECT 命を救え！！一人命救助編一
- 2年：美術 HIBIZAKI SURVIVAL PROJECT ～美術編～  
国語「メディアと上手に付き合うために」～HSP 南海トラフ大地震を生き残るための情報源はどれだ！？～
- 1年：家庭科 ダイレクトロード「海辺の町」  
道徳 郷土を愛する心「篠崎街道」
- 全学年：特別活動「赤船祭」

## 単元指針

### プロジェクト型アプローチの視点

「南海トラフ巨大地震」という将来直面するであろう災害（現状の社会課題のみならず、未来社会に求められるテーマ）を扱った課題解決型のプロジェクトを、学習目標と育成すべき資質・能力の設定に基づき、発問・評価・学習活動などの視点から設計する。

尾道市役所総務課総合安全係の指導・助言を受ける、「フィールドワーク」に地域の方も参加いただく等、学習者が課題解決のために他者の強みや専門性を活用する場面・機会を戦略的に設定し、さらなる探究の発展をうながす。

「フィールドワーク報告書」「防災パンフレット」等の学習成果物を社会に発信し、第三者からの評価やフィードバックを受け、その結果をふりかえり次の目標設定や探究課題の設定につなげる機会を設定する。

生徒のアイデアや思いを形にしなが、単元づくりを進めていく。

各教科の横断を意識したPROJECTにする。

### 評価規準

- 〈知識・技能〉
- ・災害の現状、原因及び防止方法等についての理解を深め、日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動をとるとともに、自ら危険な環境を改善することができる。
  - ・調査活動を、目的や対象に応じた適切さで実施できる。
- 〈思考・判断・表現〉
- ・現在及び将来直面する安全の課題に対して、的確な思考・判断に基づき、適切な意思決定や行動選択ができる。
  - ・他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を分類したり、効果を意識した表現方法を組み合わせたりしている。
- 〈主体的に学習に取り組む態度〉
- ・自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加し、貢献できる。
  - ・課題解決に向け、自分の特徴やよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。
  - ・自他の意見や考えのよさを生かしなが課題解決に向け、協働して学び合おうとしている。

### 本質的質問

10年後、私たちはどんな尾道市に住んでいたいのか？  
⇒ 我が町（ふるさと）尾道、我が誇り ～我らは日比崎防衛隊 赤風連～

### 単元質問

南海トラフ巨大地震が発生しても、自分たちは助かることができるだろうか？

### 内容質問

あなたは南海トラフ巨大地震について知っていますか？どのようなことを知っていますか？  
あなたは災害が発生したときに備えて、何か準備をしていますか？どのような準備をしていますか？  
あなたは災害時に避難所での生活を経験したことがありますか？それはいつのことですか。  
災害時に避難所で生活することになった場合に不安はありますか？どのようなことが不安ですか？  
災害時の避難場所にどのようなイメージを持っていますか？  
南海トラフ巨大地震とは、どのような地震ですか？  
南海トラフ巨大地震の、被害の特徴はどのようなものですか？  
南海トラフ巨大地震の、人的被害・建物被害はどのようなものですか？  
登下校の道で危険そうだなと思う場所はどこ？（危険と考える理由。どのような被害が予想されるか。）  
日比崎中学校区内の危険個所はどんな所にありますか？  
日比崎中学校区内の危険個所を実際に見たことがありますか？  
日比崎中学校区内を実際に歩いてみて、どのようなことを感じましたか？  
いざというときに備えて必要な防災グッズは、どのようなものですか？  
日比崎中学校に避難所が開設されたら、どのようなことが課題になりますか？  
来年度は、どのようなことについて皆で取り組んだり、学んだりしてみたいですか？

学習者のイメージ設定	
クラス人数	31名（4名×8グループ）
クラスの雰囲気	明るく笑顔の絶えないクラス。リーダーを中心にまとまって、共に努力できる。少人数班で意見交流、話し合いができる。エンジンがかかるのが遅い。

<学習活動の構想>

学習段階	学習活動 (教師の支援)	評価		教材および ●ICT活用
		評価規準	評価手法	
導入 Mission 1 1学期 課題設定 (1時間)	<p>Q 南海トラフ巨大地震が発生しても、自分たちは助かることができるのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「20XX年、ある冬の日の夕方」を視聴し、単元名をつかむ。</li> <li>・防災に関するアンケートを記入し、交流する。</li> <li>・動画を視聴しながら、情報をワークシートに記入していく。</li> </ul> <p>Q Mission 2以降に向けて、学習してみたい、こんなことに皆で取り組んでみたいということはありませんか？</p>	<p>南海トラフ巨大地震を自分ごととして意識し、今後の学習に向けてアイデアを出すことができる。</p> <p>南海トラフ巨大地震について、知識を身につけている。</p>	<p>Form アンケート ワークシート</p>	<p>教員PC プロジェクタ</p>
夏休み課題	<p>身近な地域の調査</p> <p>Q 登下校の道で危険そうだなと思う場所はどこですか？（危険と考える理由。どのような被害が予想されるか。）</p> <p>Q 調査をふりかえろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「今までの自分」「この調査で学んだこと」「これからの自分」について記入する。</li> </ul>	<p>登下校の道の危険箇所について、実際に見たことに基づいて、理由や被害予想を記入できている。</p>	<p>ワークシート</p>	
展開1 Mission 2 2学期 災害図上演習 (2時間)	<p>赤船祭の団ごとに3チームに分かれ（計18チーム）、災害図上演習（DIG）を行う。</p>	<p>フィールドワークに向けて、学区内のどこが危険かを理解している。</p>	<p>行動観察 地図 ワークシート</p>	

<p>展開 2 Mission 3 2 学期</p> <p>フィールドワーク (4 時間)</p>	<p>災害図上演習で学んだことを生かしながら、実際に自分たちの足で現地を歩く。</p> <p>①計画の作成 ②③フィールドワーク ④リーダーが中心となり、フィールドワークの報告書を作成する。</p>	<p>マップ中の危険箇所の実際の様子を見て、改めて日比崎中学校区内の危険な状況を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>マップ中の危険箇所の実際の様子をみて、本当に危険箇所かどうかを多面的・多角的に考察、判断し、その過程や結果を適切に自分の言葉で表現している。</p> <p>フィールドワークの課題を明らかにして、進んで解決しようとしている。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>	
	<p>3 年生 Mission 4 : フィールドワーク報告書 (全体版) 作成 Mission 5 : 防災パンフレット作成</p>			
<p>展開 3 Mission 6 3 学期</p> <p>防災グッズ一覧作成 (2 時間)</p>	<p>資料をもとに、自分たちが生き残るために、本当に役立つ防災グッズ一覧を作成する。</p> <p>①個人→班で検討 ②学級全体での話し合い活動</p>	<p>いざという時に備え、根拠を説明しながら、必要なものを選択できる。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>	
<p>展開 4 Mission 7 3 学期</p> <p>避難所運営ゲーム (1 時間)</p>	<p>「南海トラフ巨大地震発生！日比崎中学校に避難所を開設せよ！」</p> <p>サブプロリーダーを中心に各クラスで、避難所運営ゲームを実施する。</p>	<p>傷害の防止について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つかりたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>	

<p>まとめ 3学期</p> <p>1年間のふりかえり (1時間)</p>	<p>Q 1年間のサバプロの学びを通して、自分が生き延びる確率は何%くらいだと思いますか？整数で記入してください。</p> <p>Q 南海トラフ巨大地震に対して、現時点で、どのような準備・対策をしていますか？</p> <p>Q 1年間のサバプロの学びを通して、印象に残っていることは何ですか？</p> <p>Q 1年間のサバプロの学びを通して、どのようなことを学び、何を身につけましたか？</p> <p>Q 1年間のサバプロの学びを通して、どのようなことを考えるようになりましたか？</p> <p>Q 来年度のサバプロでは、どのようなことにチャレンジしてみたいですか？（今年やったことをそのままでも、改善策でも、新しいことでもOKです）</p>	<p>災害の現状、原因及び防止方法等についての理解を深め、日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、自他の安全に配慮して安全な行動をとるとともに、自ら危険な環境を改善することができる。</p> <p>現在及び将来直面する安全の課題に対して、的確な思考・判断に基づき、適切な意思決定や行動選択ができる。</p> <p>自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加し、貢献できる。</p>	<p>ワークシート</p>	
---	--	---	---------------	--

<b>特記事項</b>

<評価ツール：ルーブリック>

4	3	2	1
*****			
具体的な内容			
*****			
具体的な内容			
*****			
具体的な内容			